

【021】 次の表は、ある年の公立学校のコンピュータ設置状況を示したものである。この表から判断できることとして、最も妥当なのはどれか。

	学校数	コンピュータ台数		教員用コンピュータの 1台当たりの 児童生徒数
		教育用	教員の校務用	
公立学校総数	36,716	1,776,484	539,623	7.2
小学校	21,820	806,192	224,912	8.7
中学校	10,023	486,530	128,249	6.8
高等学校	3,892	453,762	153,872	5.2
中等教育学校	20	1,715	626	5.5
特別支援学校	961	28,285	31,964	3.8

- 1 1学校当たりの教育用コンピュータ台数が最も多いのは、中学校である。
- 2 中学校と高等学校をみたとき、教育用コンピュータ台数と教育用コンピュータの1台当たりの児童生徒数から推測できる児童生徒数が多いのは、高等学校である。
- 3 1学校当たりのコンピュータ台数(教育用コンピュータと教員の校務用コンピュータの合計台数)が、最も少ないのは小学校である。
- 4 中学校1学校当たりの教育用コンピュータ台数は、高等学校のその3割以下である。
- 5 コンピュータ台数総数に対する教育用コンピュータの割合をみたとき、最も割合が高いのは小学校である。

【021】 3

小学校 台数： $806192+224912=1031104$ 1学校当たりの台数= $1031104\div 21820\div 47.3$

中学校 台数： $486530+128249=614779$ 1学校当たりの台数= $614779\div 10023\div 61.3$

高等学校 台数： $453762+153872=607634$ 1学校当たりの台数= $607634\div 3892\div 156.1$

中等教育学校 台数： $1715+626=2341$ 1学校当たりの台数= $2341\div 20=117.05$

特別支援学校 台数： $28285+31964=60249$ 1学校当たりの台数= $60249\div 961\div 62.7$

以上より、正しい。

1 教育用は

小学校： $806192\div 21820\div 36.9$

中学校： $486530\div 10023\div 48.5$

高等学校： $453762\div 3892\div 116.6$

中等教育学校： $1715\div 20=85.75$

特別支援学校： $28285\div 961\div 29.4$

となるので、高等学校が1番多い。

2 中学校： $486530\times 6.8=3,308,404$ 高等学校： $453762\times 5.2=2,359,562.4$

中学校のほうが多い。

4 中学校： $486530\div 10023\div 48.5$ 高等学校： $453762\div 3892\div 116.6$ $116.6\times 0.3=34.98$

3割を超えている。

5 計算してみると

小学校 台数： $806192+224912=1031104$ $806192\div 1031104\div 0.78$

中学校 台数： $486530+128249=614779$ $486530\div 614779\div 0.79$

高等学校 台数： $453762+153872=607634$ $453762\div 607634\div 0.75$

中等教育学校 台数： $1715+626=2341$ $1715\div 2341\div 0.73$

特別支援学校 台数： $28285+31964=60249$ $28285\div 60249\div 0.46$

わずかに中学校のほうが割当が多い。